

放射線治療後の副作用について

放射線治療、お疲れ様でした。

治療終了後の副作用と対処方法についてお話しします。



1. 副作用について

①放射線皮膚炎

治療開始期間	症状
2～3週間～	皮膚の発赤、軽度のヒリヒリした痛み、掻痒感、乾燥感、熱感、日焼け様の色素沈着
治療終了	皮膚炎→1～2週間は進むが、徐々に回復する 皮膚乾燥・汗が出ない・ほてり → 皮膚の分泌腺(汗腺や皮脂腺など)の機能低下がおこる 皮膚のこわばり → 2年～数年後には柔らかくなる

- ・治療中軟膏やローションなどの処方を受けていた方は、治療終了後最低2週間は継続してください。
- ・腕を動かさない事で肩関節が固まり腕があがりにくくなるため、洗濯物を干す、肩を動かす等の運動をしましょう。

②放射線肺臓炎

発生頻度は少ないですが、治療終了1年以内に生じる事があります。

初期症状：咳、微熱、息切れ、呼吸困難など感冒様症状に似ています。

気になる症状がある場合は、早めにかかりつけ医にご相談ください。

湿布などテープ類に関しては、治療終了後2か月間は貼らないようにしましょう。

2. 治療終了後の注意点

➤ 皮膚に付けたマジックの印は消えてもいいですか。

消えても構いませんが、皮膚が弱っているのでこすらずに自然に消えるのを待ちましょう。

➤ 治療後の下着はどうしたらいいですか。

治療終了後の期間	下着	注意事項
治療終了後 1か月まで	術後胸帯または、柔らか素材でワイヤーなしブラジャーや伸縮性がある綿素材のタンクトップかキャミソールなどを着用するとよいでしょう。 下着の跡がつかない、こすれないものを着ましょう。	重さのあるパットの使用やテープを貼るなど皮膚への刺激は避けましょう。

※治療終了1ヵ月を過ぎた頃から温存術の方は術前にご使用されていた下着を、全摘術の方はワイヤーのないブラジャーやパットを使用されても構いません。

➤ 治療後のスキンケアはどうしたらいいですか。

乾燥に対して：皮膚の症状が何もなければ治療終了2週間後より、乾燥予防として入浴後には皮膚に乳液やクリームを顔に塗る時のようにやさしく擦らずなじませるようにしましょう。

ほてりに対して：保冷剤をタオルに包むなどして直接皮膚に当てず15分以内くらい冷やすと気持ちよいでしょう。

➤ 放射線治療が終わったらリンパ浮腫のセルフマッサージはどうしたらいいですか。

治療終了1か月間は、肩回しと深呼吸のみで、皮膚トラブルがなければ、その後はセルフマッサージを再開されても構いません。

ご不明な点は右記にご相談ください。

松江赤十字病院 乳腺外科外来

平日：8時20分～16時50分 TEL：0852-24-2111

平成24年12月11日作成